

授業科目名・形態	精神看護方法論 I	演習	必修・選択の別	必修	
担当者氏名	山内久子	開講期	2年前期	単位数	I

【授業の主題】

精神障害者の入院期間は長期にわたることが多い。病状は退院可能であるが社会的に退院できるサービスが不十分なために入院している長期入院患者が、現在の入院患者の3分の1前後になると考えられている。この実情から精神障害者に対する偏見や差別等の問題点や課題が浮かび上がってくる。これらの背景を理解しながら精神障害者の置かれている立場・症状と看護・家族とのかかわり等について学び、さらに精神科看護師に求められている役割についても学ぶ。

【到達目標】

精神障害者とその家族が偏見と差別の中で生活している現実を知る。
精神障害者に対する急性期の看護および慢性期の看護の基本を理解する。

【授業計画・内容】

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 第 1 回 | 精神臨床看護学とは・精神科看護師の役割 |
| 第 2 回 | 患者—看護師の発展過程 |
| 第 3 回 | 自己の振り返り |
| 第 4 回 | セルフケアの援助 ①日常生活の援助 |
| 第 5 回 | セルフケアの援助 ②服薬、活動と休息、対人関係 |
| 第 6 回 | 精神看護の看護過程 ①アセスメント |
| 第 7 回 | 精神看護の看護過程 ②ケアプラン・実施・評価 |
| 第 8 回 | 生きる力と強さ ①ストレングス ②リカバリ ③エンパワメント |
| 第 9 回 | 精神疾患患者の理解 ①患者のとらえ方 |
| 第 10 回 | 精神疾患患者の理解 ②入院時の看護 |
| 第 11 回 | 安全管理 ①環境整備 ②自殺・自傷行為 ③暴力 |
| 第 12 回 | 安全管理 ④誤薬 ⑤転倒・転落 ⑥誤嚥・窒息 |
| 第 13 回 | 安全管理 ⑦隔離・身体拘束 ⑧無断離院 |
| 第 14 回 | 急性期・回復期の看護 |
| 第 15 回 | 慢性期の看護・退院支援 |

【授業実施方法】

主として講義形式で行い、適宜グループワーク等を取り入れます。

【授業準備】

その日学んだ授業内容は教科書および配布資料に目を通して復習し、次回の授業内容については予習を必ず行なってから授業に臨んで下さい。

【主な関連する科目】

「病態治療学Ⅲ（精神疾患）」「精神看護方法論Ⅱ」「精神看護学実習」

【教科書等】

川野雅資編集 「精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学」 ヌーベルヒロカワ出版

【参考文献】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価方法】

筆記試験 80%、課題レポート・提出物 10%、授講態度・演習への取り組み・出席状況 10%等を総合的に評価します。

【学生へのメッセージ】

- ・ 授業中に行なうグループワーク時は積極的に参加して下さい。
- ・ 日頃から精神疾患および精神疾患患者に対して関心を持ち、新聞・テレビ等のニュースにも注意・関心を払うようにして下さい。